



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第64号 R4. 2. 15

第5回東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会開催

2月4日、東能勢中学校区学校運営協議会設立準備委員会をオンラインで開催しました。本会議の内容は、以下の通りです。

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 学校視察の報告
※学校視察…11月16日に準備委員会委員が東能勢小・中学校を訪問し、授業参観と管理職から学校の取組説明を受けました。
4. 部会からの報告
○学校運営部会 ○OPTA部会 ○通学路等安全対策部会
5. 令和4年度の学校運営協議会・開校準備委員会について
6. 連絡事項
7. 閉会



はじめに会長から「4年後の義務教育学校開校へ向けて、これから準備を完璧に進めていかなければならない。」とご挨拶いただきました。

来年度は、東能勢小中学校に「学校運営協議会」が設置され、また令和8年4月義務教育学校開校に向け、新たに「標準服等検討部会」「総務部会」を立ち上げます。会議では、地域とともにある学校づくりをめざし、「学校運営協議会」と「開校準備委員会」が活発に活動していくための前向きなご意見を委員の方からいただきました。次回の委員会で再度意見を出し合い、よりよい運営の方法を考えていきます。

委員から出されたご意見等

- ◆来年度、「学校運営協議会」が設置されるが、学校と地域をよりつないでやっていくために、副会長を2人体制にしてはどうか。
- ◆「学校運営協議会」の部屋をどこかに設けられないか。会議で使ったり、みなさんが気軽に集まったりすることのできる場所をつくりたい。
- ◆「学校運営協議会」と「開校準備委員会」の「スローガン」をこの会で考えてはどうか。保幼小中のみんなで同じ目標に向かって取り組みを進めるための意識付けにもなると思う。
- ◆「開校準備委員会」のことがあまり知られていない。どのように広報していくか。
- ◆東地区の問題点は何か。「学校運営協議会」でできることは何かと考えている。
- ◆学校運営協議会で、例えばHPを作成して発信することができたら、子どもたちの励みにもなるのではないと思う。

教科における、道徳授業を創る

1月24日、東能勢中学校において「豊能町小中一貫教育推進研究会(まなび部会)道徳部会」が定例外で開催されました。

道徳の時間は、「特別の教科 道徳(道徳科)」として教科化されましたが、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童生徒が自分自身の問題と捉える「考える道徳」「議論する道徳」への転換が求められています。

そこで、今回の部会では、小・中学校の先生方の授業改善を図る研修として講師に桃山学院教育大学准教授の龍神美和先生をお招きし、3年A組の学級で示範授業を行っていただきました。授業では、「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン(出典:日本文教出版)」という教材を通して、「今の社会をよりよくするために『きまり』について考えるべきことは何か。」について考えました。生徒からは、「自分自身で嫌なことが起きないように考える、自分自身の心がベース。」という発言がありました。きまりを守るといふことのよりよいあり方について、じっくり考える生徒の姿が見られた授業でした。



教育活動全体で行う道徳教育の目標は、「人としてよりよく生きようとする道徳性を養うこと」です。その要となるのが、週1時間の「道徳科」の授業です。

小中合同 イラストコンテストの開催☆

東能勢小学校の児童会が企画した「小中合同 イラストコンテスト」が開催されました。小中の児童生徒と先生たちが描いたイラストを小中両方の校舎に掲示し、気に入ったイラストに投票をするという取組みです。掲示されていたイラストは、どれもていねいに描かれていて、参加した児童は「楽しかった。私の描いたイラストはこれ。」とうれしそうに教えてくれました。



【イベントを企画した児童会の児童より】

- ・私は絵が好きで、去年企画しました。去年やってみて今年もやりたいと思って企画しました。中学生もやりたいと言ってくれたので、今年は小中一緒にすることにしました。
- ・ぼくは、この学校のみんなが協力し合えるところが好きです。来年から5・6年生は中学校校舎に行くけど、お互いが分かり合える楽しい学校にしたいです。

【担当の先生より】

- ・6人の児童会代表が、1年間自分たちのやりたいを形にしてきました。全部自分たちで考え、実行し、心底感心しています。
- ・次年度から5・6年生は中学校校舎に行きますが、自分たちのやりたいを大切にして、小中の児童生徒が互いに刺激し合い、高め合って欲しいです。



作業する児童会の児童

参加者に送る手作りのトロフィー



児童玄関に掲示された児童生徒の作品